

【姿で伝える6年生】

R4.4.20

《さわやかあいさつの輪を広げる》

「おはようございます。」元気に、さわやかなあいさつが飛び交う朝。児童玄関では、執行委員を中心とする6年生が、花のアーチを入り口に設置し、さわやかあいさつの輪を広げようと、一人一人と目を合わせながらあいさつをしています。花のアーチをくぐりながら、お辞儀をしたり、元気な声を出したりと、6年生の活動に答えようと、どの子もあいさつの声を響かせていました。



人と目を合わせながらあいさつをしています。花のアーチをくぐりながら、お辞儀をしたり、元気な声を出したりと、6年生の活動に答えようと、どの子もあいさつの声を響かせていました。

認証式で伝えた願いの一つ「あいさつを広げる」を共有し、力強く一步を踏みだしている6年生です。



《ハリヨを守る》

正面玄関近くで大切に育てているハリヨ。毎年、3年生がその役割を担って世話をしています。

そのハリヨのすみかの水草が育ちすぎて、池いっぱいになっているのを見た6年生が、「もう少し

減らした方がいいよ。」とアドバイスしながら、率先して水草や藻を最適な量まで減らす作業をしてくれました。道具を使ったり、手で直接取り除いたり。周りで見っていたみんなは、6年生の姿に感心していました。自分たちにできることを考えて活動し、姿で示す6年生の姿、すてきです。